

# 富山市立熊野公民館

## ◆事業の目的

地域の身近な自然に触れ、楽しく遊びながら環境が生態系に及ぼす影響を知ることを目的とし、世代間交流を通して地域住民のふれあいを図る。また、自然だけではなく、地域の施設を見学することにより、ごみ処理やリサイクルの大切さを学ぶ。

## ◆事業の流れ

| 実施日      | 活動名        | 場所                         | 参加人数 |
|----------|------------|----------------------------|------|
| 7月24日(日) | 親子で生き物調査   | 石田集落・休耕田・二俣川               | 23名  |
| 8月4日(木)  | ふるさと探訪ウォーク | リサイクルセンター、阪神化成、ますのすしミュージアム | 48名  |
| 8月7日(日)  | 川の水質と生き物調査 | 熊野川・青柳新から上熊野地域に流れる用水       | 28名  |

## ◆事業の様子

### ☆ 親子で生き物調査

休耕田では草むらにいるバッタ、カエルなどの昆虫を捕り、二俣川では水門を堰き止め、滑り落ちてきた魚を網で捕りました。二俣川は水質も良く、ヤマメ、ハゼ、ドジョウ、カワカニなどがいました。採取した昆虫や川魚は公民館に持ち帰り、昆虫図鑑などで詳しく調べた後昆虫は草むらへ、魚は川へ返しました。



### ☆ ふるさと探訪ウォーク

リサイクルセンター、阪神化成、ますのすしミュージアムを見学しました。リサイクルセンターまで歩きごみが再利用される仕組みを聞きました。子どもたちは熱心にノートにメモをとっていました。阪神化成では生産されているさまざまな容器やペットボトルの生産工場を見学、ますのすしミュージアムでは、ますのすし作りを見学しました。



### ☆ 川の水質と生き物調査

朝から日差しの中、親子で熊野川に入り、うぐい・八目うなぎ・ドジョウ・あぶらはや・ヤゴゴリ・もずくガニ・川えび・しじみ・めだかなどいろいろな生き物を捕獲、観察しました。熊野川と2箇所違った用水路で水質検査をし、水の酸性度と水中の酸素含有量などを調べると、用水の流れや場所により微妙な違いがあることがわかりました。



## ◆事業の成果と課題

どの活動も天候に恵まれ、自然体験、世代間交流という目的は果たせたと思います。

身近なところにまだまだたくさんの自然があるのは、地域で大切にしているからだと思いました。

校区にペットボトルの生産からリサイクルまでの工場があることを知り、実際に見学することでエコに対する意識や、地域への愛着が高まったと感じました。